

の い 年 習 熟 手

パソコン編

第2回 買ってはみたものの？



今井 洋 (千葉県市川市開業)

URL: <http://www2.gol.com/users/imaident/>

E-mail: imaident@gol.com

前号ではパソコンを購入する前の注意点を中心に書きましたが、いよいよ今回は実際のパソコンを購入しからの注意点をいくつか書いてみましょう。

箱は捨てない！

待ちに待ったパソコンがとうとう家に配達されました。お店で見たパソコンより大きな梱包が届いたのに少しびっくりするはず。ノート型は箱はひとつですが、デスクトップは普通、本体とディスプレイが別々のダンボール箱に入っています。たぶんディスプレイの重さと奥行きの高さに戸惑うでしょう。

さて、ダンボール箱を開封すると取扱説明書や付属品がお行儀よく、梱包材に囲まれてパッキングされているのがわかります。中に入っているものを確認しながら、少しずつ出していきましょう。本体とディスプレイやプリンタの箱を同時に開けてしまうと同じようなケーブルや、CDが入っていたりして、どれがどこに入っていたかわからなくなるから注意しましょう。あとでトラブルがあったときに使う物がこの中にはたくさんあるのです。くれぐれもしっかり整理しながら開けていきましょう。

中身を出し終わると、残るのがダンボール箱と梱包材です。これらを処分するのはちょっと待ちましょう。

パソコンは超精密機械です。買った製品が初期不良品であることもたまにはあります。最低数ヶ月、できれば1年間に入っていたダンボール箱、梱包材、ビニール袋類も含めて保管しておきましょう。返品や修理のときにこれらがないと本当に困ったことになるのです。また、引き取りの対応がまるで違います。どうしても場所がない人はきれいに折りたたんでおきましょう。とりあえず接続して、動作確認までは少なくとも数週間かかるはず、それまででもとりあえず大切に取っておきましょう。

最近洗濯機や冷蔵庫は配達業者が梱包をとき、箱を持って行ってくれますが、パソコンに関しては

箱は捨てない！



ちょっと違います。くれぐれも捨てないように。

スイッチ ON……しかしいくつもの壁！

いよいよパソコンの電源を入れてみよう。ここではおもに Windows パソコンについて書きます。

本体の電源ボタンを押すと「ワーン」というファンファールのような音が出て驚きます。画面には SONY や TOSHIBA のようなメーカーの文字が表われます。熟年先生は「おっ、ついたぞ！」「これで俺もパソコンのオーナーになった」と胸をときめかせます。出てきたメーカーの文字を見つめて「きれいだなー」と思った途端、画面は真っ黒、表示が何もなくなり、左上の片隅に小さな白い点だけがチカチカ。数秒間で Windows のきれいな画面が表われるのですが、この時間の何と不安だったこと。これはパソコンが基本 OS を認識して「よーし、これから一生懸命働くぞー」と伸びをしているのでしょうか(ちなみに Macintosh ではこんなことはありません)。

とにかく実際に起動画面になるまでは1分半から2分半もかかってしまうのです。